関小学校教育協議会だより

　2018/10/1

第３回関小学校教育協議会が開かれました

日頃から保護者の皆様・地域の方々の多大なご支援・ご協力に心より感謝申し上げます。９月２０日に第３回教育協議会が開かれました。今回は、「関小学校の特別支援教育について」をテーマに、考え方や現在の取り組み、まなびの教室について紹介し、ご意見をいただきました。また、「学校運営協議会会則について」を確認しました。

　関小学校の特別支援教育について

**目標「一人ひとりのもてる力を高めるインクルーシブ教育」**

**大切にしたいこと**

・自尊感情を育むこと　　　　・将来を見すえた、個に応じた学び

・なかまづくりを土台に　　　・連携して取り組むこと

・自分の意思、困っていることを伝え合えるように

**特別支援のすすめ方**

　　　　　　　　アセスメント

共に育ち、ともに学ぶことができる学校

個に応じた支援・指導

～学びの場や形態～

どう支援・指導していくか

子どもの困り感のもとになっていることを考える

違いを認め合える　　　学校・学級

なかまづくり

→人権教育

|  |
| --- |
| 支援学級 |
| 普通教室 |
| まなびの教室 |
| ふれあい教室 |

支援指導

共生教育

個別の支援計画

個別の指導計画作成

方向づけ

情報共有

連携

・放課後デイサービス　・いきいきキッズ

・地域の方々　・学童保育　・中学校　・支援学校

〇授業の「ユニバーサルデザイン」とは

・授業環境　　　　　・指示の出し方

・視覚支援　　　　　・授業内容

・流れの構造化　　　・その他

〇授業における「合理的配慮」とは

　障害のある子も同じ場で共に学ぶために必要なこと

・音過敏への配慮→ヘッドホン等　　・ノート、ワークシートの工夫

・SOSカード

　→子どもたちの「**共通理解**」が必要

〇多様な学びの場・形態

・特別支援学級　　　　・ふれあい教室

・まなびの教室

〇関小の子どもたち

　・様々な子たちと自然に接することができる。

　・理解不足のために傷つける言動をすることがある。（トラブル、まさつ、疑問、誤解）→みんなで解決していくことが**共生**。

　今回の協議会では、個別支援を進めていくには、ちがいを認め合う**なかまづくり**が土台となっていることを確認しました。また、放課後デイサービスや特別支援学級の枠組み、指導方法、現状の課題、福祉との連携など、たくさんの質問が出され、話し合いました。

　学校運営協議会会則について

関小学校は、来年度からコミュニティスクールとしてスタートします。第3回の会議でも「学校運営協議会会則」について見直し、確認をしました。今後は今回、確認した会則をもとに、コミュニティスクールのスタートに向けて準備を進めていきたいと思います。

**第４回教育協議会は、１１月２９日（木）に行われます。**

